



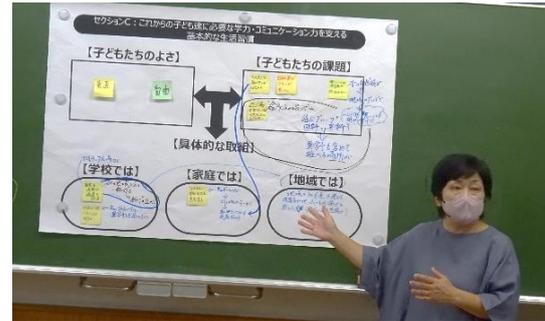
セクション A の熟議の様子



セクション B の熟議の様子



セクション C の熟議の様子



仲西委員長のお話

「アフターコロナ期に、長系発信の教育を②」

本年5月のゴールデンウィーク明けに、5類に移行した新型コロナウイルス感染症。まだまだ、その勢いは衰えていませんが、日常生活はコロナ禍前の状況を取り戻しつつあります。ただ、何もかもコロナ禍前にそっくりそのままに戻すのではなく、コロナ禍で学んだことを生かしながら、新しい生活様式をつくりだそうと、社会は動いています。



学校においても、コロナ禍前までは当たり前のように行っていたいろいろなことを、「子ども主体」という観点で見直し、子どもにとって本当に価値あるように、また子ども自身がよさやすばらしさなどの価値をみいだすことができるように、教育活動を精選しています。このような教育活動の大転換ともいえる「子ども主体」の教育活動の実現は、学校だけの力では難しいものがあります。今まで以上に、家庭と地域と学校とが、長系小に通うすべての子ども達のために、知恵と力を出し合うことが必要です。

皆様にお力添えをいただきながら、県下に誇れる長系小学校の教育を展開してまいりたいと思います。

<第2号 文責:教頭 二串 英一>